



2025年9月19日

各位

会社名 株式会社アイ・ピー・エス
銘柄名 株式会社 I P S
代表者名 代表取締役 宮下 幸治
(コード番号：4390 東証プライム)
問合せ先 管理部長 赤津 博康
(TEL. 03-3549-7719)

財務上の特約が付された資金の借入に関するお知らせ

当社は、2025年7月30日付で公表した「新たな国際海底ケーブルへの設備投資（固定資産の取得）および大口受注（一部使用权の提供）に関するお知らせ」および2025年8月7日付で公表した「連結子会社における新規事業の開始に関するお知らせ」に関連して、本日開催の取締役会において、下記のとおり財務上の特約が付された資金の借入を行う方針について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 借入の目的・理由

当社が参画する、日本・フィリピン・シンガポールを結ぶ新たな国際海底ケーブルのコンソーシアム方式による共同建設、ならびに当社連結子会社 InfiniVAN, Inc. が行うフィリピン・ルソン島東岸 Baler における国際海底ケーブルの陸揚局建設は、今後建設工事が本格化する予定です。これに伴う投資資金ニーズに対応するため、当社はこのたび金融機関との間で以下のとおり融資枠を設定することといたしました。

2. 借入の概況

(1) 借入先	株式会社みずほ銀行をアレンジャーとするシンジケート団
(2) 借入金額	上限約 120 億円（米ドルおよび円での借入）
(3) 借入金利	基準金利＋スプレッド
(4) 資金使途	新国際海底ケーブルシステムおよび Baler 陸揚局の建設資金
(5) 契約締結予定日	2025年9月30日
(6) 借入実行	2025年10月より建設進捗に伴う資金需要に応じて、最長3年間段階的に借入を実施
(7) 借入期間	借入金額確定後5年間で返済
(8) 担保等の有無	無担保・無保証

3. 契約に付される財務上の特約の内容

- ① 各事業年度の決算期の末日における連結貸借対照表における純資産の部の金額を前年同期比75%以上に維持すること。
- ② 各事業年度の決算期における連結損益計算書に示される営業損益が2期連続で損失とにならないようにすること。
- ③ 各事業年度の決算期の末日における連結ネット有利子負債/EBITDA 倍率の3期加重平均値を5.0倍以下に維持すること。

4. 業績への影響

本件の2026年3月期連結業績に与える影響は現在精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上